

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎



11月のアルミ概況および12月の見通し (4)

【アルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績】

前年比+2%、7万4,105 t、13カ月ぶりプラス。
出荷は+5.8%、7万6,605 t、13カ月ぶりプラス。

【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-1.8%、17万7,161 t、10カ月連続マイナス。

【輸出】

アルミ新地金が前年比+50.6%の125 t。二次合金が+119%の2,401 t。スクラップが-19.8%の8,833 t。アルミ缶が+28.6%の6,968 t。

【輸入】

アルミ新地金が前年比+55.4%の17万1,067 t。二次合金が+2.5%の11万2,311 t。スクラップが+389.5%の2,051 t。合金スクラップが+7.2%の4,429 t。

【見通し】

自動車は生産が-53%。国内販売台数が前年比+83%。生産は4カ月連続マイナス。ただ販売が大幅に拡大しておりこれが続くかどうか今後注目。

住宅着工の動向については、前年同月比で0.3%増となった。また、季節調整済年率換算値では95.0万戸(前月比0.8%増)となった。今後プラス傾向が続くのか今後の動向に注目。

アルミ圧延・押出品生産数は板類・押出生産合計は前年比-1.8%、10カ月連続マイナス。板類は10万6,016 t、▲3.9%、10ヶ月連続でマイナス。

押出類7万1,145 t、1.4%の5ヶ月ぶりプラス。今後更にマイナスが続くかの動向に注目。

【アルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績】

前年比+2%、7万4105 t、1カ月ぶりプラス。出荷は+5.8%、7万6605 t、1カ月ぶりプラス。

今後更にマイナスが続くかの動向に注目。
アルミ輸出は、好調な生産を受けて増加。
アルミ輸入は好調な内需を背景に増加。

【スクラップ景況予想】

流通在庫は年末の狼狽売りや中国塊の下落を受けてスクラップも連れて下落しており、売り玉があるのでは? 需要面に関しては年末休業要から購買意欲は薄いのではないかと?

【LME・為替予想】

今月は米中貿易戦争の動向と朝鮮半島問題に左右される。米中間選挙に関しては先のG20で中国からの輸入品の関税を来年1月に引き上げる制裁措置を一時、(90日)見送ることを発表。

代わりに中国は、貿易の不均衡を是正するため、アメリカから農産物やエネルギー、それに工業製品などを買い入れることで合意するなど中国側に軟化が見られることから90日以内に合意するのではないかと?

朝鮮半島問題に関しては非核化実行なら「金委員長の望みかなえる」と文大統領に伝言しており、金委員長との2回目の首脳会談を来年1月か2月にも開きたいとの意向を示していることからこちらも前進するのではないかと?

これらを踏まえた12月のアルミ価格は、米中貿易戦争でアメリカに有利に進展し、朝鮮半島問題で非核化に向けた動きが出た場合、2,000ドル付近。

両条件が揃わなかった場合現状からもう一段安の1,900ドル付近まで下落するとの予想。

ドル円値は112円~114円(TTM)台を予測。

スクラップ購買価格に関しては0~+5円程度と予測している。

【「11月のアルミ概況および12月の見通し」終了】

銅・非鉄金属地金全般

株式会社 オカモト

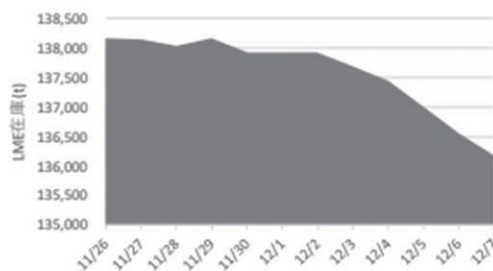
代表取締役 岡本宜三

大阪府堺市美原区黒山 696

☎ 072-361-2264 fax 072-361-2265

LME認定倉庫在庫量推移 11月26日~12月7日(現地)

北米特殊



ニッケル

